

# 第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	5	ささえあい・雄武	整理番号	79
基本施策	23	多様な交流の促進	評価責任者	総務課長 原 正 美
単位施策	3	男女共同参画の推進		

## 1 施策の概要

基本方針	男女共同参画に関する意識啓発や、男女がともに働きやすい条件整備を働きかけるとともに、ドメスティックバイオレンスなどの相談や関係機関との連携の体制を強化します。また、女性が委員会等に参加しやすい環境づくりなどを通じて、女性の意見を積極的に反映させていきます。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	男女共同参画に関わる環境が法制度の構築や見直しなどにより、少しずつ整備される中、町行政の付属機関における女性委員の積極的な登用の推進や、適宜、男女共同参画を推進に関する意識啓発に努めたが、意識と実態には未だ乖離があります。	男女共同参画に関わる環境が法制度の構築や見直しなどにより、少しずつ整備される中、町行政の付属機関における女性委員の積極的な登用の推進や、適宜、男女共同参画の推進に関する意識啓発に努めたが、意識と実態には未だ乖離があります。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	男女共同参画社会の推進は、一人ひとりの意識によるところが大きく、家庭、地域、職場など対象に応じた意識啓発を一層進め、向上しつつある意識と実態の乖離を埋める有効な実践活動の推進が課題となっています。	男女共同参画社会の推進は、一人ひとりの意識によるところが大きく、家庭、地域、職場など対象に応じた意識啓発を一層進め、向上しつつある意識と実態の乖離を埋める有効な実践活動の推進が課題となっています。

## 2 基本施策指標

指標1	指標名	委員会等への女性の参画率					
	定義等	行政の付属機関等における委員会等への女性の委員就任率					
	年 度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値						20%
指標2	実績値	9.68%	8.25%	7.24%	8.17%	8.70%	
	指標名	男女共同参画の満足度					
	定義等	家庭、地域、職場など社会全般における男女共同参画に関する町民の満足度					
	年 度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指標3	目標値						25%
	実績値	12%（H18）	未調査	未調査	未調査	12.30%	
	指標名						
	定義等						
指標4	年 度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値						
	実績値						
	指標名						
指標5	定義等						
	年 度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値						
	実績値						
指標6	指標名						
	定義等						
	年 度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値						
指標7	実績値						
	指標名						
	定義等						
	年 度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指標8	目標値						
	実績値						
	指標名						
	定義等						

### 3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事 務 事 業 名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

### 4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理 由 、 説 明 等
① 妥 当 性	A	家庭、地域、職場などの分野において性別による固定的な役割分担意識をなくし、男女共同参画を推進することは、今後の健全な社会の発展には不可欠な要素であり、妥当性がある。
② 有 効 性	C	行政の附属機関における女性委員の積極的な登用の推進や、適宜、男女共同参画の推進に関する意識啓発に努めたが、具体的な施策の展開に至っていない。
③ 効 率 性	C	男女共同参画を推進する具体的な施策の展開が不十分であり、効率性も低い。
④ 公 平 性	A	男女共同参画を推進することは、性別による固定的な役割分担意識をなくし、健全な社会の実現を目指すものであり、不公平感はない。
⑤ 町民意見の反映	D	必要に応じて町民意見の反映に努めているが、日常的に意見をくみ取る仕組みはなく、具体的な意見も寄せられていないことから、反映には至っていない。

### 5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等  
(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
D	D	
行政の附属委員への女性委員の積極的な登用の推進や、適宜、男女共同参画の推進に関する意識啓発に努めたが、十分な推進が図られていない。	同左	

今後の方向性

継続／現状維持	継続／現状維持	
「男女共同参画」を施策として掲げるとは継続し、推進に対する意識啓発等の施策展開を図ることが必要である。	同左	

\*今後の方向性の区分

○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止